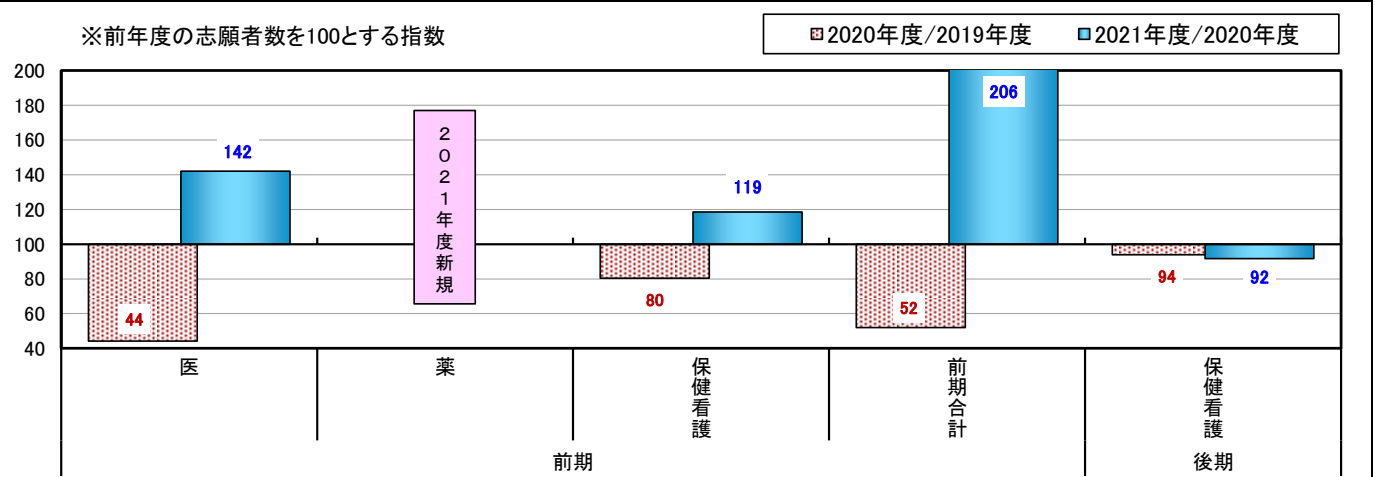


## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

**和歌山県立医科大：前期の医は大幅増加、新設の薬は志願倍率 2.6 倍**      前期：+273 人    後期：-9 人



入試変更点    学部新設：薬(薬) …<前>70 人

**COMMENT**    ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は 273 人(206)の倍以上。新設の薬を除いても 88 人(134)の大幅増加。後期は保健看護のみの募集で 9 人(92)の減少で 2 年連続減少だが、志願倍率はかろうじて 10.0 倍と 10 倍台に留まった。

＜前期日程＞

- 医(142)は、前年度半減以下の大幅減少の反動で、40%以上の大幅増加。2015 年度以降、前年度の増減の反動が継続した。募集単位別では、<一般枠>(143)は、前年度半減以下の大幅減少の反動で、40%以上の大幅増加。志願倍率も 2.0 倍→2.9 倍にアップ。<県民医療枠>(140)も、前年度半減以下の大幅減少の反動で、大幅増加。志願倍率も 2.7 倍→3.7 倍にアップ。
- 保健看護(119)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願者数は 2 年ぶりに 100 人を上回り、志願倍率も 2.2 倍→2.6 倍にアップ。
- 新設の薬は、募集人員 70 人、志願者数 185 人で、志願倍率は 2.6 倍だった。なお、公立大の薬で中期以外での実施は和歌山県立医科大が初めてだったが、前期での実施ということで公立大の中では最も低倍率だった。